

茜雲

阿南町立阿南第一中学校 学校だより
令和4年度3月号(最終)

令和5年3月15日(水)
担当: 棚橋秀光(教頭)

～ 令和4年度が終わりました ～

本日、卒業証書授与式を挙げてまいりました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域の来賓の方にはご来校いただくことが出来ず残念でしたが、保護者の方々、在校生、職員で卒業生19名の門出をお祝いすることが出来ました。中学校で最も大事な行事のひとつを無事に終えることができて感謝です。

卒業式は、卒業生にとって中学校最後の学校行事で、最後の発表の場です。一人一人がステージの上で学校長から証書を受け取り、その場で振り返って話す一言一言に義務教育9年間の成長を感じることが出来ました。胸が熱くなる瞬間です。在校生はその姿を心にとどめ、これからの阿南一中をさらに発展させていくことでしょう。

4月からそれぞれの学年で新しい道を進みます。これまでに培った「自立・自律」の姿をさらに高めて、活躍して欲しいと願います。卒業生、在校生におかれて、地域の方・保護者の方からの応援をよろしくお願いいたします。



学校生活総まとめ 生徒会活動活発に

した発表を鑑賞したりする形でしたが、今年はずべて対面で行いました。合唱練習も全校で集まってしっかり声を出すことが出来ました。相手の顔や反応を直にみる事が出来ると感動も達成感も倍増します。昨年度の工夫にも感心しましたが、今回全校生徒が集まった会もすばらしい会になりました。一中の新しい年度の生徒会を、1・2年生は自信を持って引き継ぎ、3年生も安心して見守ることが出来るでしょう。

生徒会のまとめは生徒総会と3年生を送る会です。生徒達は慌ただしい中でも着々と準備を進めてきました。

1年前はオンラインだったり事前収録



一中応援隊 ご協力に感謝

3月3日には図書館整備に関わっていただいた皆さんに集まっていただいて、まとめの会を持ちました。ご協力のおかげで図書館システムの導入準備が整い、4月から稼働できます。来年度以降も図書の受入や蔵書点検等で継続してご協力いただくことになりました。また、図書館を交流の場として、生徒とともに過ごしていただくようなことも考えています。

玄関の生け花も週1回程度新しくしていただいています。季節の彩りを感じ、毎週楽しみにしている生徒・職員はいっぱいです。

応援隊に限らず地域調べやキャリア教育等でたくさんの地域の方にお世話になって進めてこられたことをうれしく思います。皆様のご協力に感謝し、来年度も引き続きご支援いただきますようお願いいたします。



明日16日(木)より、4月5日(水)まで春休みとなります。まだまだ新型コロナウイルス感染再拡大への心配はなくなっておりません。感染予防や健康には十分に注意し、進学・進級に向け充実した春休みにしてください。部活動についても十分に注意して行いますが、変更が生じた場合は随時緊急メールまたは電話等でご連絡します。

なお、3月24日(金)は新年度準備登校日で、1・2年生は8:15登校、12:10下校です。

= 令和5年度 4月当初の予定 =

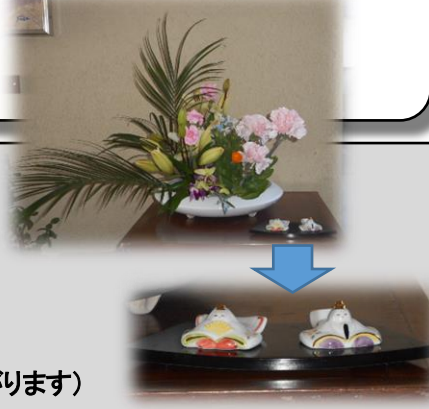
4月6日(木) 始業式・入学式			
○新2・3年生登校	12:30	(バス 富草:雲雀沢 12:20 発、和合:大月 12:10 発)	
○清掃	12:40~12:50	○始業式	13:00~13:25
○学活	13:35~13:50	○入学式	14:15~15:05
○片付け・バス通生の会	15:10~15:25	○学活・3,5組担任の給付	15:35~16:15
○下校	16:25	(バス 富草 16:28、和合 16:20)	

- 7日(金):給食開始 生徒会対面式・入会式 全校学習オリエンテーション 部活動発足式
- 10日(月):3年実力診断テスト 11日(火):生徒会① 発育測定
- 12日(水)~14日(金)3年生修学旅行 17日(月):3年生計画休業
- 18日(火):3年全国学力・学習状況調査 ノーメディアデー
- 20日(木):尿検査1次② 防災訓練① 生徒会② PTA常任委員会①
- 21日(水):尿検査1次② 24日(月):交通安全教室 25日(火):校長講話①
- 26日(水):生徒総会 27日(木):全国学調英語「話すこと」
- 28日(金):参観日、PTA総会 部活動正副保護者会長会① 5月2日(火):部活動対面式

<< 令和4年度末転退職員 >>

在職の長短はありますが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

- 田本けい子 : 高森町立高森南小学校へ (校長)
- 濱島 保 : 飯田市立飯田東中学校へ (技術・家庭科、5組担任、PTA 事務局)
- 北條 弘幸 : 伊那市立伊那東部中学校へ (理科、1学年担任)
- 三溝 高洋 : 長野市立櫻ヶ丘中学校へ (社会科、3学年担任、生徒会)
- 和出龍之介 : 阿智村立阿智中学校へ (保健体育科、部活動)
- 日向 邦夫 : 退職 (初任研指導)
- 新井ゆかり : 阿南町教育委員会へ (相談室サポート)



新型コロナウイルス感染防止のために休み中も以下の点にご留意ください。

- ・毎日健康観察(検温等)を行う。
- ・健康チェックカードを活用する。
- ・登校する場合は健康チェックカードを忘れずに持参する。

何かご心配なことがあれば、学校へご連絡ください。

学校:0260-22-2014 (休日・夜間は直接学校長または教頭につながります)

【ご家庭の皆様、地域の皆様へ】

一年間、本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度もコロナ禍の一年となりました。感染拡大防止のため、行事の内容変更や生活の制限等に対応しながらも充実した学校生活を送り、本日無事に卒業式を終えることができました。これもひとえにご家庭の皆様、地域の皆様のお力添えのことと、深く感謝いたします。

職員一同、どの子にとっても安心・安全な学校づくりを目指して取り組んで参りました。来年度も、学校目標「知・徳・体」のもとに、子どもたちみんなが自ら学び、思いやりの心を育みながら、健やかに成長していける学校を目指し、予測不可能な未来をたくましく生き抜く力を育てていきたいと思っております。今後ともご家庭の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をよろしく願いたします。

一年間お世話になりました。ありがとうございました。

令和4年度 卒業証書授与式

<学校長式辞>

式 辞

「自然が繰り返すリフレイン-夜の次に朝が来て、冬が去れば春になる-という確かさの中に、限りなく私たちがいやしてくれる何かがある」(レイチェル・カーソン「センス・オブ・ワンダー」)の一説です。長かった暗闇と厳しかった冬を乗り越え、新しい朝を、そして暖かい春を迎える喜びを噛みしめています。本日は、阿南町教育委員会 林 一仁様のご臨席を賜り、令和4年度の卒業証書授与式が、挙行されることとなりました。

19名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ただ今皆さんひとりひとりに手渡した卒業証書は、中学校の課程を全て修了し、卒業するという証です。卒業証書の左肩にはひとりひとり番号が記されています。みなさんは、阿南第一中学校の3378番目から3396番目までの卒業生として、本校の卒業生名簿に名を連ねることになります。

さて、皆さんの中学校生活は、コロナ禍まっただ中の3年間でした。小学校の卒業式を目前に控えた3月の全国一斉休校に始まり、入学後も一斉休校や分散登校を余儀なくされ、その後の学校生活でも制限や我慢を強いられることが多くありました。悲しい思いや悔しい思いも数多く経験してきたことでしょう。しかし、この3年間をふり返ってみると私には、皆さんの輝いている姿ばかりが浮かんでくるのです。

個性豊かな19名の仲間たちが、自分の色を出して繰り広げる物語は、1年生の時の学級通信「COLORS」からも垣間見ることができました。1年の1学期の終業式で、すでに「この18人の友だちと会えてよかったと思います」と卒業式並みに語ってくれた人がいました。茜祭の前日、教室の黒板にはクラス全員の仲間が不思議な動物に姿を変えて描かれていました。2学期の終わりの学級通信には、通知票には載らないひとりひとりの個性が分かるような称号が記されていました。自分の色をはっきりと示すことで互いに理解を深め合い、そして自分がかげがえのない自分であることを認識する、そんな仲間です。

そしてその仲間たちは、一中生徒会という大きな仲間づくりに取りかかりました。生徒会スローガン「CANVAS～自分らしさを描く～」茜祭テーマ「COLORFUL」の通りに、ひとりひとりの色を載せたすてきな一中「CANVAS」ができあがりしました。学年を超えた生徒集会の対話では、輪になり頭を寄せ合って語り合う姿が見られました。普段は人前に立つ機会の少ない人が茜ステージで堂々と表現する姿もありました。ひとりひとりの色を大切にすることを貫き、その意味を後輩たちに示してくれた生徒会でした。

WITH コロナという、私たちに突きつけられた正解のない大きな「問い」に、誰もが自分なりの答えを探しながら歩んできた3年間。みなさんもまた、立ち足かきいくつもの壁を無我夢中で越える中で、ふと、自分は一人じゃない、仲間がいるんだという大きな力を感じ、幾度となく勇気を与えられたことでしょう。生徒会誌「あかね」に寄せられた生徒会長の「楽しいとは仲間とともに苦しい中でも笑い合っただけを送るってなんだ」この言葉につけるのではないかと思います。コロナによって世の中の変化が一気に加速し、IT技術が進歩して自動化されても、人とのつながりが人を支える力になるという本質的なことに気づききっかけを与えてくれた、そんな3年間でした。

今、世界に目を向けると、争いや災害で命を落としたり心を痛めたりしている人たちがたくさんいます。予測困難な時代にさしかかり、私たちはこれからも答えのない「問い」に向き合い続けることになるでしょう。でもみなさんならきっと大丈夫。これからの人生の中で、自分だけの正解を探し続けながら自分の歩みを進めていけると信じています。私たちは、これからずっと、少し離れたところからみなさんを応援しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。ふり返ればあつという間の3年間、しかし、いつの間にか目の前に立つ我が子の目の高さは親を超え、大人に近づく内面の変化に戸惑われたこともあったのではないのでしょうか。今、広い世界への入り口に立ち、新たな一歩を踏み出そうとしている我が子の力を信じて支えていただきますようお願いいたします。

本日参列していただくことができなかったご来賓の皆様・地域の皆様そして保護者の皆様の温かなご支援、ご協力にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

卒業生のみなさんの今後の飛躍と、本校に心を寄せていただいている全ての皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、式辞といたします。

令和5年3月15日 阿南町立阿南第一中学校長 田本 けい子

<送辞>

送 辞

学校の梅も満開になり、春の訪れを感じる季節となりました。

本日は、はれてこの阿南第一中学校を卒業される3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、3年生の皆さんは、この阿南第一中学校で過ごした日々を、どのように振り返っているのでしょうか。学校生活の中で、多くの人と出会い、貴重な体験をし、たくさんのことを学んだ日々は、大切な思い出になっていることと思います。

皆さんは、常に私たちの先頭に立ち引っ張ってきて下さいました。そんな皆さんは、私たちの憧れであり目指す目標でした。

部活動では、常に全身全霊で取り組み、各部の目標に向かい努力する姿は、とても輝いていました。私たちはそんな皆さんの姿から、机の上の勉強だけでは得ることが出来ない大切なものを教えていただきました。最後までボールを追い、仲間と協力し、声を掛け合い続け諦めない姿と笑顔で躍動する姿が見られた中体連。茜祭で、見てい

る人聴いている人の心を魅了し、元気を与えてくれた吹奏楽部の演奏。見る人、聴く人に喜びと感動を与えて下さった皆さんの姿は、今も心に残っています。

また、生徒会活動では「CANVAS～自分らしさで描く」というスローガンを掲げ、その実現に向け「一中 G's・12の目標」を設定して取り組みました。おかげで、部活動や授業など学校生活の様々な場面で笑顔が輝きました。中でも、3年生を中心として行われた第54回茜祭では「COLORFUL」というテーマのもと多くの人に驚きと感動を与えて下さいました。特に開祭式で初めて目にしたステージバックは圧巻でした。全校で色紙に手形をつけていったことを思い出し、より強く感動しました。多くの人の笑顔があふれた茜ステージ、各競技全力で競い合ったASF。ASFは雨天のため体育館で行われることになりましたが、3年生と保健体育委員会の指示のもと、臨機応変に対応ができ、場所と競技が変わっても全校で楽しむことができました。一人ひとりがキャンパスに自分らしさを描くことができました。皆さんのアイデアあふれる二日間は、多くの人の心に残り、忘れることができないかけがえのない日となりました。

今私たちは、生徒会・部活動を引き継ぎ、中心となって運営していく苦労と大変さを実感しています。3年生の皆さんが「卒業される」と思うと、寂しく心細いですが、任せて下さい。皆さんが築き上げてくださったこの学校が、より良いものになるように、残された私たちも精一杯努力していきます。

卒業生の皆さんはこれから先それぞれの選んだ道を進んでいけます。時には困難にぶつかることもあるでしょう。そんなときは、この阿南第一中学校で仲間と過ごした日々を思い出し、乗り越えて下さい。私たちは、力強く歩いていく皆さんのことを、いつまでも応援しています。

最後になりましたが、卒業される皆さんに改めて感謝の気持ちを表すと友に、今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和5年3月15日 在校生代表

<答辞>

答 辞

やわらかな日差しがそそぐこの頃、春の訪れを感じます。本日はこのようなご時世の中、このような素晴らしい卒業式を挙げていただき誠にありがとうございます。先生方をはじめ、保護者の皆様にご臨席いただきありがとうございます。卒業を迎えられることに卒業生を代表して厚く御礼を申し上げます。

今振り返ると私たちの三年間はコロナウイルスとともに歩んだ三年間でした。新しい環境に飛び込む期待や不安を胸にこの阿南第一中学校に入学した矢先、コロナウイルス蔓延防止のため休校になりました。それ以外にも当たり前に感じていたことが当たり前のようにできない経験をたくさんしました。思い描いていた学校生活とは違う生活を余儀なくされても私たちは、数少ない貴重な仲間たちとともにたくさんの思い出を作り、経験を積み、成長することができました。

私が中学校の生活の中で最も印象に残っているのは3年生の時に経験した修学旅行と第54回茜祭です。修学旅行は本来4月に行われる予定でしたがコロナの影響で9月まで延期されました。修学旅行を迎えるまでにたくさんの不安が頭をよぎりましたが、多くの方々の支援のもと無事予定通りの修学旅行を行うことができました。私はこの修学旅行を通じて、どこに行くのかではなく誰と何をすることが大切だということ学びました。もちろん京都と奈良に行けたことはとてもうれしかったですが、私はこの3年1組の仲間たちと過ごせるのならどこであろうと最高の思い出が作れるなと思いました。そんな経験を通じてさらに団結を深めた私たちは生徒会活動の集大成である茜祭に挑みました。3年生になった4月から長い時間をかけて準備してきた茜祭。そのテーマは「COLORFUL」でした。「CANVAS～自分らしさで描く～」という生徒会テーマのもと積み上げてきた生徒会活動とのつながりができるように3年生全員で決めました。中学生になるとテストや部活などが忙しくなり自分に自信が持てなくなると他人との違いに悩むことも多くなりますが、自分らしさを忘れず真っ白なCANVASをカラフルに描き上げるように一人一人の個性を輝かせようという意味が込められていました。その準備期間は決して楽なものではなく修学旅行と同様にコロナの影響を大きく受けました。プログラムの変更、期日の変更、予想のできない困難が次々と舞い降りてきました。しかし、クラスの仲間や後輩達との協力、先生方のお力のおかげで無事茜祭を開催することができました。当日は誰よりも茜祭を成功させたいと頑張ってきた3年生はもちろん3年生についてきてくれた1・2年生、全校が一体となり全力で楽しむことができました。閉祭宣言では少しアクシデントが起きましたが無事、茜祭を成功させることができました。仲間と気持ちをそろえて協力することの大切さや楽しさをたくさん学ぶことができました。

茜祭が終わると、私たち3年生は人生を左右する進路を決めるための重要な時期を過ごすことになりました。一人一人が厳しい現実と向き合っていく中で大変な思いもしましたが、先生方の熱心な指導、何より常にそばで見守ってくれた家族のみなさん。たくさんの方々に支えられて自分の決めた道に向かって歩んでいます。

今日私たちはこの阿南第一中学校を卒業します。三年間コロナとともに歩んできた学校生活。何気なく送っていた日々の生活がどれほど貴重で幸せなことなのかを初めて感じるすることができました。いつも一緒に過ごしてきた仲間と別れ、それぞれの道を進んでいくことはとても寂しいですが、この三年間で培った経験と思い出を胸に刻み、新たな環境でも精一杯努力していきます。まだまだ心配をかけることになるとは思いますが、よろしくお祈りします。私たちはこれからの人生を通して阿南第一中学校卒業生として誇れる人になれるよう精進します。最後に今まで支えてくれたすべての方々へ感謝の気持ちをお伝えして、答辞といたします。

令和5年3月15日 卒業生代表